



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No. 5

2016.8.3(No.2878)

基本を学び、地域と共に

第2560地区ガバナー／田中政春
 会長／川瀬康裕
 会長エレクト／小出子恵出(クラブ奉仕A)
 副会長／松永一義(クラブ奉仕B)
 幹事／関川博
 S A A／明田川賢一
 会計／浅野金治

例会日／毎週水曜日 12:30～
 例会場及び事務局／
 三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (～はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押してください)

- 本日の出席会員数:55名中42名
- 先々週出席率:86.54%

【ヴィジター】

- ・国際ロータリー第2560地区ガバナー
田中政春 様(長岡西RC)
- ・2013-14年度ガバナー
山崎堅輔 様(中条RC)
- ・2014-15年度ガバナー
佐々木昌敏 様(小千谷RC)
- ・2015-16年度ガバナー
山本和則 様(新潟南RC)

【先週のメイクアップ】

- [7.28] 三條RCへ
・菊池 渉さん、斎藤弘文さん、
・阿部吉弘さん、山田富義さん、
・衛藤泰男さん
- [7.28] 燕RCへ
・阿部吉弘さん、加藤紋次郎さん、
・木村文夫さん
- [7.29] 三條クリーン協議会 総会へ
・中村和彦さん



2016～2017年度国際ロータリーのテーマ



会長挨拶 「花火の思い出」

川瀬康裕 会長



本日は中條耕二PG様、山崎堅輔PG様、
 佐々木昌敏PG様、山本和則PG様、田中政
 春地区ガバナー様お運びいただきありが
 たく感謝申し上げますとともに会員一同
 を代表して心より感謝申し上げます。

地区の大事に礼を尽くしておいでいた
 だき、身の引き締まるおもいでございま
 す。クラブとして真摯にことを進めてまいりたいと思いま
 す。皆様のご理解、ご支援をお願いいたします。

今日八月三日は長岡花火の最終日です。三條の花火は六日
 で新潟祭りの花火が六日、七日です。

越後平野の夏祭りの花火は高速で新潟市から戻る途中にい
 つもどこかで花火が上がっているのが見えます。

子供の頃から長岡花火は見ていました。夜9時になると市
 内の明かりが消えてサイレンが鳴り、三尺玉が上がるのは今
 でもよく覚えています。長岡の花火は明治時代からあったよ
 うですが、昭和26年から長岡祭りとして盛んになりました。
 昭和35年くらいから40年頃まで毎年土手や棧敷で見ていま
 した。長生橋にかかる初めてのナイアガラの印象は強烈でし
 ました。山下清の長岡花火の絵はレプリカが我が家にもありま
 した。花火とのハネムーンの時代でした。その後棧敷の値段が

高くなりあまりいかなくなりました。昭和50年代からは子供を連れて信濃川の下の中島の日赤の社宅から歩いて土手に上り見に行きました。年々新しいスターメインが上がり、金銀で蜂のように音を立てて飛び回る変わり種もありました。それ以後、屋形船で見た時は煙ばかりで花火が見えなかったり、近すぎて首が痛いだけだった思い出もあります。対岸の川西地区の病院の当直でいつもの反対側から見たり、飛行機で新潟平野上空から花火を見たこともあります。どこから見ても花火の形は変わらないことを改めて実感しました。寺泊の水上花火も綺麗な噴水のように暗い海の上に咲く花火の美しい思い出があります。小千谷では小千谷病院に勤務していた友人が花火を打ち上げる予定が書かれた新聞を見て身近な花火大会だと感じました。片貝の花火もお立ち台があり同窓会や仲間、家族で山の天辺でうちあげる花火が印象的でした。新潟まつりの豪華な花火も栈敷きで何度か見ました。三条に来てからは三之町病院の屋上を開放して花火を見た時期がありました。ビール樽を開けて職員や近隣の人たちがたくさん集まって楽しい花火大会でした。去年は久々に長岡花火を見てきましたがあまりに規模が大きくて圧倒されました。100万人2万発だそうです。サンディエゴで暮れにあげた2000発の花火が18分かけるところ15秒で打ち上げてしまうなどということもあるようです。いろいろな場面で花火を見ましたが、高速で走っていて突然花火が目の前で上がるのが好きです。近くで見るのは三条の花火の規模で土手で飲みながら見るのが一番楽しいと思います。夏祭りですべて民謡流しに出ることも6年ほど続けています。汗を流すのは楽しいものです。日本三大花火は長岡、大曲、土浦でいずれも2万発、80~100万人の観客です。大曲は8月27日、土浦は10月1日ですのでこれから行こうと思えばいけます。ありがとうございました。

幹事報告

関川 博 幹事

- ◎田中ガバナー事務所より
「8月ロータリーレートのご案内」
8月1日より 1ドル=102円 (現行)
- ◎田中ガバナー事務所より
「ガバナー月信 8月号発行のお知らせ」
スマートフォンやタブレット型端末からもご覧いただけます。
- ◎田中ガバナー事務所より
「第1回ロータリー財団セミナー開催のご案内」
日 時 8月20日 (土)
受付・昼食 12:00~13:00 /
セミナー 13:00~16:00
会 場 長岡グランドホテル
- ◎台湾・新竹城中RCより、台風1号のお見舞いに対するお礼状が届きました。

ご挨拶頂きました。



田中政春ガバナー



佐々木昌敏パストガバナー

ニコニコBOX

国際ロータリー第2560地区ガバナー

長岡西RC 田中政春様

ガバナーとして初めて他クラブ例会に出席しました。
面倒なお願いに参りましたが宜しくお願い致します。

パストガバナー 三条北RC 中條耕二様

RI第2560地区のガバナーの選出に参りました。
伝統と歴史ある三条クラブからは是非ガバナーを出して下さい。

パストガバナー 中条RC 山崎堅輔様

皆様コンニチワ! 例会でのお食事は公式訪問以来です。
暑さ厳しき中、御自愛下さいますように。

パストガバナー 小千谷RC 佐々木昌敏様

久しぶりに三条クラブにお伺いできて、実家に帰ってきた心境であります。ガバナー輩出にご尽力くださいますよう心より祈念いたします。

パストガバナー 新潟南RC 山本和則様

2018-19年度のガバナーを藤田説量大ガバナー以来久しく輩出されていない、伝統ある三条クラブ様
にお願いに参りました。

川瀬康裕会長

本日おいでいただいた田中ガバナーはじめ多くの
パストガバナーを歓迎いたします。
樺山会員卓話ありがとうございます。
60周年事業に協力いたします。

山田富義さん

田中ガバナー、パストガバナーの皆様、三条クラブへようこそおいでくださいました。歓迎申し上げます。
60周年成功しますように御協力お願いします。

関川 博さん

今日は、田中ガバナー、中條PG、山崎PG、佐々木PG、山本PG、ようこそお越しいただきありがとうございます。
樺山会員、今日は卓話楽しみです。

杉山幸英さん

田中ガバナー、パストガバナーの皆様を歓迎致します。
60周年成功に御協力をお願い致します。

中條克俊さん

昨日49才の誕生日を迎えました。父と母に感謝し40代最後の1年がんばろうと気持ちを新たにすることができました。

丸山行彦さん

樺山会員、卓話ありがとうございます。
60週年に協力して。

斎藤弘文さん

7月26日柏崎の花火を見て感動致しました。今日は長岡の花火大会を越後交通本社ビル屋上から見に参ります。

8月5日、6日、7日に開催される三条夏祭りも多くの企業、市民の協賛をいただいて準備も終わり、本番を待つのみとなりました。

五十嵐晋三さん

田中ガバナーはじめ大勢のパストガバナーをお迎えしました。ありがとうございます。

熊倉昌平さん

田中ガバナーをはじめパストガバナーの方々のご来訪ありがとうございます。ご指導宜しくお願い致します。

樺山 仁さん

今年2回目の卓話を依頼されました。よろしくお願い致します。

斎藤真澄さん

先週の納涼例会御協力ありがとうございました。
樺山会員の卓話を楽しみにしています。

江部卓城さん

昨日、突然の豪雨と雷。島田、下田方面で停電し、ご迷惑をおかけしました。

船越良則さん

田中ガバナー、今日はよろしくお願い致します。

小林吾郎さん

暑いです。お盆までなんとかしのぎましょう。

五十嵐昭一さん

樺山さん、たびたびご苦勞様です。

佐野勝榮さん

暑さもあと半月です。
樺山さん、卓話ご苦勞様です。

石橋育於さん

よいことがありました。スマイルボックスに協力いたします。

渡辺良一さん、 荻根澤隆雄さん、 渋谷健一さん、
高橋 司さん、 西山徳芳さん、 松永一義さん、
伊藤寛一さん、 中村信一さん、 歸山 肇さん、
明田川賢一さん、 浅野金治さん、 五十嵐博宣さん、
小越憲泰さん、 金子俊郎さん、 若槻八十彦さん、
柳取崇之さん、 宮本信秋さん

樺山会員、今日は卓話ありがとうございます。
お話楽しみにしております。

8月3日分 ¥ 76,000
今年度累計 ¥ 263,000

「卓話」

「青春時代の思い出②」



榎山 仁 会員

皆さん、今日は。今日は、前年度の卓話の続きをしてもらいたいとの事で、再度お話し致します。

前は終戦前後のちょうど71年前頃の大変な時に小学生としての体験をお話の始めとして申

上げました。終戦前後は日本国民にとって、大変な悲惨な日々の連続でした。

東京での空襲、そして疎開先の長岡での昭和20年8月1日の空襲、そして終戦を迎えて当時の事をよく思い出されます。

昭和天皇より、終戦時NHKで発表されました。「時運のおもむくところ耐え難きを耐え、忍び難きを忍び、もって万世の為に太平を開かんと欲す」

玉音放送が、8月15日昼12時に発表されました。

空襲とは、焼夷弾が連日連夜空から降ってくる事があります。当時所かまわず無差別の爆撃は、当時の戦時法では禁止されておりましたが、守られてなかった様です。

オランダのハーグで行われた戦時法規制委員会(1923年 第一次世界大戦時)で「爆撃は軍事的目標に対して行われた場合に限り、適法とする」と決まっていたのですが、第二次世界大戦以後この法律を守る国がなく、開戦時アメリカ大統領ルーズベルトは、全ての交戦国に対して、「非武装都市の一般市民を空中から襲撃する非人道野蛮行為を避けよう」とアピールしたのですが、戦局が進むにつれ法を守る時は忘れられて来た様です。

戦時の空襲といえば、1945年3月10日の東京大空襲、死者10万人、焼失家屋25万戸で、江東地区は全滅でした。

日本の色々な地方でも空襲があり、新潟県長岡市では、71年前の1945年8月1日終戦間近の時大空襲があり、大変な騒ぎとなりました。

終戦後の食糧難を毎日経験してきました。

そして大学卒業時の就職難を経て、やっとトヨタに入社。それより後がまた大変でしたが、人々の力を借りて少しづつ仕事楽しくなって来ました。私もセールスに対して少し自信がついて来て、諸官庁を始め色々な方々とのお付き合いが毎日の仕事でした。トヨタ時代には365日仕事の事を考え、企業訪問、個人の自宅訪問で暇がなかった時代でした。正月を除き、あとは仕事づけでした。365日休みは特

別な日のみでありました。

友人は元より、親戚や知人、芸能人の知り合い等の「つて」を頼りに、販売の手順を進めて来ました。昭和35年位にNHKで「本日休診」と言う連続テレビが放映されました。このモデルは私の義姉の妹の嫁ぎ先で、大田区蒲田蓮沼で医者をしている南雲産科医院の南雲今朝雄医師を取り巻く、愉快的医師のユニークな日々の連続ドラマでありました。私は医師会を始め、医者友人を紹介して頂き、あちこちの医師を回りました。55年式～58年式までは観音開きの左右のドアセンターピラー式が特別な仕様で、微調整が大変でした。59年型から現在のRS型に変更しましたトヨタクラウンのピーアールに目を割いておりました。おかげで色々な方々との交流が始まり、新型車両に変更(モデルチェンジ)された事で、お客様へのピーアールになり、販売成績もダントツで上がって来ました。本当に感謝でありました。特に、R型エンジンは素晴らしい商品でありました。自身を持って販売出来ました。

当時トヨタでは、トヨタ自動車工業(自工)と、トヨタ自動車販売(自販)と二社に分かれておりました。当時の自工でもトヨタ生産方式真っ只中で、いかにお客様に良い車を提供するか、当時の社員全体がそれを戦っておりました。

自販の方もトヨタ生産方式に準じ、販売に携わる人全ての社員が楽しめる仕事をしてお客様に接する事が出来る様にと、入社時当初より教育の機会があり、担当者全員でよく勉強して来たのだと振り返り思い出されます。

人生に一度しか会えぬ人もいれば、全く会えない人もいる様に、人と人との出会いをいかに大切に出来るか、今我々ロータリークラブの根っ子の所は皆同じ共通な思いがあると思います。

人間自分だけ一人で生きる事は不可能で、色々な方々との人間関係が密になって、有意義な人生を送る事が出来るのだと信じます。

現在から未来に渡って楽しみが見え隠れする事が深く心に焼き付き、やる気になって元気が出るのかな…と思います。

近代のトヨタの生産方式は、当時大量生産をただ推し進める方法と思いきや、全く別の考え方で、トヨタの工場をアメリカ、ケンタッキー工場を建築するにあたり、ただの大量生産重視ではなくて、そこで働く人々が今日より明日のために考える働き方が出来る様に、人々のために、また働く自分達のために共に余裕が持てる様にと考えて、160万坪(東京ディズニーランド10個分)、従業員7000人、完成車

50万台の生産を一貫生産するために、設営致しました。トヨタ自工、自販が分かれていたものをひとつに組織し、世界に誇れるトヨタに変身出来たのだと思います。

現代では生産する車種によって地区別、車種別に作業を決定されるから、着々と世界一の座を狙える所にある訳で、「プリウス」(ハイブリッド)、「MIRAI」(IP電気を中心に水素燃料)と言った独自の製品で、フォードの大量生産、流れ作業方式とは違う高度なシステムの構築により、フォードシステムに代わって世界一を狙っている様です。

今のトヨタが人口知能(IP)研究に特化して自動運転を自動化する様に、高品質の製品で日本のトヨタでなく世界のトヨタを狙っている様です。

車輛の販売では、お客様との距離を近く楽しむ仕組みをいかに取れるかと言う事が大切であったと、今思えば当たり前の事ですが、当時としてはかなりメンタルな事を大切にしていたなーと思います。無論金銭の問題もありますが、一番大切なのは希望するイメージがどの様にお客様のハートの中に刻み込まれるかと言う事であります。

トヨタ生産方式とは、その場に携わる人間を作るシステム、検査の工程が要らない車を作る事が目標である、

どんな新型車でも5年もすれば旧式の古い車となりますが、人間が考えた「システム」考えは、全世界で時間を超えて行くものです。

ジャストインタイム部品の保管や無駄な時間を減らし、今日やっている仕事を疑い、明日のために工法を凝らすシステムであります。

アメリカの様に急激な伸びが当時の日本では未だなく、量産して安くする事は簡単でなく、少ない生産台数でも原価を下げる事の出来る方式、ジャストインタイムをつきつめる事が、日本では一番大切な事であった訳です。

最近日本国内では、三菱自動車燃費の虚偽発表等問題を起し、また資本の集約のための日産との合併等話題になっていますが、いかがなものかと思えます。VWのジーゼル車の虚偽問題は、世界的にダメージが強くなっております。

トヨタを始め、全国の自動車販売会社が目標に向かって合理的な手法を探りながら、努力して来た訳です。短期間に結果を出す事は大変で、新規購入、台替えの促進、増車のタイミング、社会的情報を上手に利用しながらのセールス活動でありました。

トヨタ、日産、プリンス、イスズ、日野、ダイハツ、スズキ、各社の営業員が一定期間中の売上台数

を競う大会、全国セールスコンテストのイベントが開催された折、各メーカー、販売会社のセールスが販売競争に参加させられ、普通の考え方では話になりません。あの手この手と増販努力をしなくてはならない訳です。約一ヶ月で普段の二倍販売が最低の様なものです。

意を決して努力努力努力とベスト3に上りつめられ、月15台~20台は達成し、その上のレベルを狙って好成績を上げられました。社長より表彰され、記念旅行として一週間の休暇を頂き、グアム島に遊びに行っておりました。春の一週間をグアム島でゴルフ三昧で楽しんで来た事が、忘れられない思い出でした。

ゴルフと言えば、当時は多くの人々が楽しんでおられた時代で、ゴルフ人口が増加中で、現在の品川駅前にプリンスホテルがありますが、そのホテルが出来る前はゴルフの練習場で、高輪ゴルフクラブがありまして、私の練習場の拠点でした。

当時東京読売ゴルフ専属のプロ 杉本英世さんと、当時キャディーをしていた村上隆さんは杉本プロのバッグを担いでいた頃で、後に村上隆プロは色々な大会で優勝する、若手のプロでした。私と友人とで習い始めましたが、大ザルにボールが入っていたものを、ヘトヘトになるまで打ちました。約300球位打ち終わると、やわら杉本プロが一言二言と教えられ、2~3日続き体の無駄な力が抜けてくるとレッスンに入りました。力も大切だが、全てタイミングと言われました。現在もゴルフを楽しんでいられるのは、その頃の出会いがあったからこそ今があるのだなあと、つくづく昔を振り返る事があります。

当時のお客様はゴルフの壮快感を楽しんでおられた様で、お客様と趣味のお話が出来ると、心の中の壁を取り払う事が出来ます。仕事上の緊張が解ければ、仕事にプラスに連動する様です。

初めはゴルフは別の世界の事と思っておりましたが、仕事の上でも良いチャンスが回って来る様でした。当時、仕事上でゴルフは人を引き付けるスポーツでした。

当時は道具も味がある物があり、ドライバーのヘッドはパーシモン(柿の木)を磨き、木目を大事に作られた様です。ボールは糸巻き式のボールですので、トップするとボールに傷がつきよく破れたものです。今では化学的に製品を作っていますのでボールはよく飛びますし、クラブは打ち易く作られていますので、昔から比べたら易しい道具が多く、すごく進歩して来ております。大いに楽しいゴルフをしたらと思います。

若い頃の出会いが、私の一生のスポーツとして楽しませて頂いております。最高ですね。

私のもうひとつの趣味が洋楽です。自宅の前がNHKオーケストラのチェリスト 小野崎さんの自宅で、毎日の様に生の音が流れておりました。子供さんは長男がチェロ、次男がヴァイオリン、長女がピアノと音楽一家でしたので、毎日弦の響きが聞こえていましたので、生演奏を聞いている様でした。長男の純くんは芸大を卒業してから渡米し、アメリカのカーチス音楽院をまた卒業しN響に入団され、現在は音大の名誉教授となり後進の指導者になっている様です。

NHKホールでのN響の演奏会に行く事が多くなり、小野崎さんから特別パスを頂きいつでも聞く事が出来る様になり、数多く聞ける様になり本当に幸せでした。

そういえば、当クラブの西山会員と渡辺稔会員お二人を、私宅で以前レコード鑑賞等して頂き、古い昔のレコードを味わって好きな曲、好きな演奏家等で楽しく語り合えた事に感謝でございます。またそんな機会を作りたいと思います。

そんな訳で私の子供達も音楽が好きで、特に下の女の子は裏小時代から校歌のピアノ伴奏を担当しておった様です。三条高校より武蔵野音楽大学のピアノ科を卒業して、現在ではピアノの先生をしながら生活しております。また、孫の男の子は現在国立音大付属高校に通学しながら、ヴァイオリンを勉強しながら毎日音楽づけの様です。音楽で飯を食う様な事は不可能でしょうが、好きな音楽を理解しながら生活できる事はそれなりに良いなあ…と思っております。

私も80才になりますし、若い頃好きなものに出会いそれに嵌まって人生を送れる事は自然な生き方で、一番嬉しい生き方と思っております。青春とは年齢を重ねる事で決まるのではなくて、心の持ちようで若さを保つ事が出来るのです。

続きの卓話で私個人の事ばかりお話し致しました。無礼をお許し下さい。

卓話を終わりとさせていただきます。

次週例会 8月17日 **クラブ休会**

次々週例会 8月24日 「外部卓話」 新潟県立三条高等学校
校長 上杉 肇 様

